

市町村名	大崎市		
事業名	「大崎耕土」アカトンボ見つけ隊		
<p><事業目的></p> <p>本市の生物多様性を把握し、良好に維持するために、環境変化に敏感で、多くの人にとって親しみがあり、身近な生きものであるアカトンボを対象に市民参加の調査を実施し、本市の自然環境のモニタリングにつなげていきます。</p> <p>併せて調査イベントを開催することで、本市の自然環境や生物多様性への関心を高め、環境に配慮した農業など田んぼ環境の重要性について周知しました。</p>	二酸化炭素削減効果	kg-CO ₂	
	その他の効果		
<p><事業内容></p> <p>場所：大崎市内</p> <p>内容：調査への参加者を募集し、市民参加による調査、市民参加型の調査イベントの開催、地域内の中学校や高等学校の環境学習、環境 NPO と連携してアカトンボの調査を行いました。</p> <p>調査では、捕獲したアカトンボの種類や雌雄、場所、環境を記録、翅にアルファベットと数字をマーキングして放し、別な場所でマーキングされたアカトンボが見つかるかを調べました。</p> <p>手法：イベントの開催、イラストの作成、集計・考察は業務委託で実施しました。</p> <p>事業実施期間：令和 4 年 4 月～令和 5 年 2 月</p> <p>調査結果：今回の調査では、約 190 人が参加し、7,333 匹のアカトンボの仲間の捕獲とマーキング（番号を書いて放す）を実施し、市内の水田周辺に生息するアカトンボの種類、割合、通報記録（参考）により長距離の移動、本地域の優占種及び生態の一部が分かりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8 種のアカトンボの仲間を確認 ・ 大崎市の水田周辺では、アキアカネ、ノシメトンボ、ナツアカネの 3 種が多くを占めました。 <p>※アキアカネが 70% ほどで時期や環境によって捕獲される種類や割合が変わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 証拠となる写真等がないため参考記録となりましたが、8 月 11 日にオニコウベスキー場でマークした個体が、9 月 25 日頃に田尻大貫新田目まで直線距離で 46 k m、標高差 800 m 移動移動したことが示唆された。 			
<p><その他></p> <p>今回の調査により、参加者等のアカトンボや地域の自然環境への関心が高まりました。中長期的なモニタリングの実施と環境保全施策への反映や他の世界農業遺産のモニタリング調査と連携し、「大崎耕土」の保全や重要性の周知につなげていきます。</p>			